

平成26年度 小千谷市社会科部 活動報告

部長 堀川 章

1 研究主題

- 学習指導要領の趣旨を生かした授業改善並びに、地域教材・資料の収集に取り組む。

2 研究の概要

- 個人研修を基に、授業改善に向け、日々の授業実践などの情報交換を行う。
- 市内校の社会科公開授業に積極的に参加し、授業技術を高める。

3 研究の実際

(1) 個人研修を基に、授業改善に向けた日々の授業実践などの情報交換

※低・中学年、高学年別に情報交換を行った。主な内容は次のとおりである。

① 低・中学年部会

- 話し合い活動の指導
 - ・ 話し方、聞き方などのスキルの指導を繰り返し行い、身に付けさせる。
- 社会事象を身近に感じさせるために
 - ・ 家の人に話を聞く。「もし、○○になったら」と自分自身の生活に関連させる。
- 見学後のまとめ
 - ・ 新聞、お礼の手紙などから児童の理解を見取る。

② 高学年部会

- 工場の見学
 - ・ 小千谷市は部品を作っている工場が多いため、児童は全体像として考えにくい面がある。
- 知識として定着させるために
 - ・ ミニテストなどで指導を繰り返して定着を図る。
- 資料活用能力を高めるために
 - ・ スキルトレーニングを組み込みながら、児童の能力を高めていく。
- 限られた時数内で授業内容を充実させるために
 - ・ ねらいと学習内容を明確化し、教師がしっかりと意識をして1時間1時間を進める。

(2) 公開授業への参加

- 東小千谷小学校の公開授業へ参加<6月18日(水)>
<公開授業「第6学年：武士の政治が始まる」>
 - ・ 協議題
「本時の活動及び表現力育成のための方途について、子どもの姿から語る」
 - ・ 本時のねらい
「元寇について調べ、北条時宗が圧倒的な軍勢の元軍を退けることができた理由を資料から読み取り、自分の考えでまとめることができる」

4 成果と課題

- 各校の実践を持ち寄り情報交換することで、会員一人一人の授業を進めるうえでの悩みなどを少しでも解消することができた。また、授業実践に向けての自信にもつながったと考える。
- 公開授業への参加については、「社会科の授業はあまり見る機会がないので、とても勉強になる」などの声が多い。授業力向上にも大変役立つ機会である。今後も継続していけるようにしていきたい。
- 上記以外にも、地域素材についての情報交換を行った。その際、地域巡検の希望も出されている。実施に向け、検討をしていきたい。